

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】令和3年6月10日(2021.6.10)

【公開番号】特開2019-25908(P2019-25908A)

【公開日】平成31年2月21日(2019.2.21)

【年通号数】公開・登録公報2019-007

【出願番号】特願2018-89788(P2018-89788)

【国際特許分類】

B 2 9 C 33/38 (2006.01)

B 2 9 C 43/10 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 33/38

B 2 9 C 43/10

【手続補正書】

【提出日】令和3年4月21日(2021.4.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

物体(190)の表面の第1の部分(192a')及び第2の部分(192a'')への力の印加を制御する方法(200)であって、前記方法(200)は、

前記物体(190)の前記表面の前記第1の部分(192a')に第1の力(193a)を加えるステップであって、前記第1の力(193a)は可撓性壁(110b)によって形成されたブラダ(111)を使用して加えられる、ステップと、

前記物体(190)の前記表面の前記第2の部分(192a'')に第2の力(193b)を加えるステップであって、前記第2の力(193b)は前記ブラダ(111)を使用して加えられる、ステップと、

を含む、方法(200)。

【請求項2】

前記第1の力(193a)を加えるステップが、前記ブラダ(111)を加圧するステップを含む、請求項1に記載の方法(200)。

【請求項3】

前記第2の力(193b)を加えるステップが、前記ブラダ(111)の内部に配置された接触部材(120)に外力(195)を加えるステップを含む、請求項1に記載の方法(200)。

【請求項4】

前記接触部材(120)が透過性であり、

前記第1の力(193a)を加えるステップが、前記ブラダ(111)を加圧するステップを含み、

前記ブラダ(111)を加圧するステップが、前記第2の力(193b)に加えて、前記物体(190)の前記表面の前記第2の部分(192a'')に前記第1の力(193a)を加えるステップをさらに含む、

請求項3に記載の方法(200)。

【請求項5】

前記物体(190)と背部支持体(170)との間に前記ブラダ(111)を配置する

ステップをさらに含み、前記接触部材(120)に前記外力(195)を加えるステップは、前記背部支持体(170)を前記物体(190)に向けて前進させるステップを含む、請求項3または4に記載の方法(200)。

【請求項6】

前記第1の力(193a)の大きさが前記第2の力(193b)の大きさと異なる、請求項1から5のいずれか1項に記載の方法(200)。

【請求項7】

前記第1の力(193a)を加えるステップと前記第2の力(193b)を加えるステップが、時間的に重なり合う、請求項1から6のいずれか1項に記載の方法(200)。

【請求項8】

前記第1の力(193a)を加えるステップと前記第2の力(193b)を加えるステップが、時間的にずらされている、請求項1から6のいずれか1項に記載の方法(200)。

【請求項9】

前記第1の力(193a)及び前記第2の力(193b)を加えながら、前記第1の力(193a)又は前記第2の力(193b)を変化させるステップをさらに含む、請求項1から6のいずれか1項に記載の方法(200)。

【請求項10】

プラダ(111)を形成する可撓性壁(110b)であって、
前記可撓性壁(110b)は内面を含み、
前記内面は接触部分(116b)及び非接触部分(116a)を含む、可撓性壁(110b)と、
前記可撓性壁(110b)の前記内面の前記接触部分(116b)に接触する接触部材(120)であって、
前記接触部材(120)は、前記可撓性壁(110b)の前記内面の前記非接触部分(116a)から離れて配置されている、接触部材(120)と、
を備える、加圧工具装置(100)。

【請求項11】

前記接触部材(120)が透過性である、請求項10に記載の加圧工具装置(100)。

【請求項12】

前記接触部材(120)が圧縮可能である、請求項10または11に記載の加圧工具装置(100)。

【請求項13】

前記接触部材(120)が、前記内面の前記接触部分(116b)に取り付けられている、請求項10から12のいずれか1項に記載の加圧工具装置(100)。

【請求項14】

制御装置(180)及びバルブ(130)をさらに備え、前記制御装置(180)は、前記プラダ(111)の内部の圧力を制御するために前記バルブ(130)に通信可能に結合されている、請求項10から13のいずれか1項に記載の加圧工具装置(100)。

【請求項15】

制御装置(180)及び背部支持体(170)をさらに備え、前記制御装置(180)は、前記接触部材(120)の圧縮を制御するために前記背部支持体(170)に通信可能に結合されている、請求項10から14のいずれか1項に記載の加圧工具装置(100)。